



第7回常任理事会

日時 平成24年7月10日（火）18：00～19：48
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・目黒・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒各常任理事、水元・中村・大口各監事（事務局：島影事務局長ほか12名）

協議事項

第1号 平成24年度医療機関等連携強化のための検討会構成員、母子保健マニュアル（児童虐待予防編）の改訂に係る検討会助言者の推薦に関する件（深澤常任理事）

標記検討会構成員に三戸常任理事を、助言者に三戸常任理事と藤井常任理事を推薦することと決定。

第2号 医療系在宅介護サービス未提供地域におけるサービス提供体制に関する検討会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

地域福祉部部員の伊藤常任理事を推薦することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座46件、道医認定生涯教育講座18件、合計64件を承認することと決定。

報告事項

1. 第7回ほっかいどう健康塾 [6月30日(土)] について（畑副会長）

札幌医大・島本和明学長を招き「高血圧から身を守ろう」と題して開催された。参加者は70名であった。

2. 第1回母子保健対策推進委員会 [6月30日(土)] について（岡部常任理事）

最近の母子保健をめぐる動向について、日医乳幼児保健検討委員会と第1回北海道HTLV-1母子感染対策協議会の報告、9月29日(土)に開催予定の日医主催の子育て支援フォーラムについての周知を行い、風しん患者の状況、不活化ポリオワクチン導入などについて協議された。

3. 学校保健推進委員会 [6月30日(土)] について（岡部常任理事）

最近の学校保健をめぐる動向として、日医学校保健委員会と学校における結核対策について報告がなされ、今秋季に帯広で開催される第61回北海道学校保健研究大会、さらに、麻しん風しんワクチンについて協議された。

4. 平成24年度Ai学術シンポジウム [7月1日(日)・東京] について（橋本常任理事）

「児童虐待の発見に果たすAiの役割」をテーマに法律家の立場、医師の立場、行政の立場から6名の講師により死因究明と画像診断の必要性について説明が行われ、総合討論を行った。参加者は174名であった。

5. 電力需給対策に関する打合せ会 [7月2日(月)] について（北野常任理事）

北海道、北海道電力、当会の三者による打合せ会を開催し、今夏の電力需給対策に関してこれまでの対応状況の報告と今後の対策等について協議を行った。当会からは計画停電時における全医療機関のグループ番号一覧を作成するよう北電に要望し、了解された。また、電力需給の逼迫がさらに深刻となることが予想される冬期間の対策と医療機関への影響を最小限とすることを含めて、今後も継続的に打合せ会を開催していくこととした。

6. 民主党北海道総支部連合会2013年度政府予算編成に向けた政策懇談会 [7月7日(土)] について（直江常任理事）

長瀬会長他9名の役員が出席し、民主党北海道総支部連合会の荒井代表をはじめ北海道選出の衆・参議員および道議会議員に対して、医療政策に関する19項目の要望を行った。特に、入院料算定における管理栄養士の配置義務化の有床診療所への影響について説明し、本件に係る診療報酬の是正を求めるとともに、社会保険診療報酬等に対する消費税の非課税制度を仕入税額控除が可能な課税制度に改め、かつ患者負担を増やさない制度に改善するよう強く要望した。

7. 第2回定款等検討委員会 [7月7日(土)] について（深澤常任理事）

委員の交代について報告の後、移行後の代議員会の開催時期、定款等変更案等に関する前回委員会の確認事項、ワーキンググループからの修正案、道法人団体課からの定款変更案に関する指摘事項、委員会答申案について協議を行った。移行後の代議員会の開催時期として、定時代議員会は6月中旬迄に開催することとし、臨時代議員会を3月中旬頃に開催するとの案が取り纏められた。今後は、事務局から道法人団体課に定款変更案の事前点検を依頼し、答申案を整えることとなった。

8. 第1回北海道健康づくり実行委員会 [7月9日(月)] について（岡部常任理事）

小職が委員長に選任され、副委員長に北海道歯科医師会・上田昇常務理事と北海道薬剤師会・笠師久美子常務理事、監事に北海道栄養士会・鈴木敬子常務理事と北海道看護協会・高橋結子常任理事が選任された。引き続き、平成23年度決算、平成24年度実施事業について協議された。

9. 外部各委員会報告

(1) 北海道精神保健福祉審議会医療計画部会〔6月27日(水)〕について(直江常任理事)

北海道医療計画の見直し、精神疾患に係る医療圏の考え方、精神疾患に係る課題認識について協議され、今後の検討スケジュールについて説明が行われた。今後7回の部会議を開催し、パブリックコメントを実施し成案化する予定である。

10. 各部報告

(1) HAC(北海道エアシステム)に関する要望について(直江常任理事)

6月27日に高橋知事(多田副知事代理)、6月29日に北海道議会・喜多議長、7月10日に上田札幌市長(秋元副市長代理)、札幌市議会・三上議長に長瀬会長から要望書を手交し、地域医療の確保のための医師派遣等に必要なHACの便数・時間帯等の運航の充実、ジェット化への対応等について要望した。各氏は、要望の趣旨に理解を示された。

11. その他

(1) 大学病院連携型高度医療人養成推進事業「自立した専門医を育むオール北海道プラス1」第6回シンポジウム〔8月3日(金)〕について(渡邊常任理事)

本シンポジウムは、若手医師の多様な希望・ニーズに応じて、魅力ある一貫した10年スパンの教育・研修システムを確立し、北海道全体で優秀な医師を育成することを目的としたものであり、道内3大学が東京慈恵会医科大学と連携して行う企画。8月3日(金)午後5時30分より北海道大学医学部フラテ会館において開催されることにつき、小職よりアナウンスした。

(2) 北海道医師会館節電計画について(三戸・深澤常任理事)

北海道電力の電力供給不足に伴い、北海道医師会館においても7月17日(火)から9月14日(金)まで節電対策を実施することとした。実施内容としては、①1階ロビーおよび各階ロビーの照明管の間引き(通年実施)、②冷房稼働時間を8時30分～10時と12時30分～15時の原則2回(※ただし、夜間の会議開催などに合わせて稼働時間は柔軟に対応)を会館全体で実施。また事務局内では、①ロビー照明を消灯し看板照明のみの使用、②事務室内照明の間引き、③昼休憩時の消灯等を実施。テナント各位へは、

①冷房時間の制限、②執務室内の照明器具の間引き、③不要箇所等の消灯等の協力依頼をすることとした。さらに、冷房設備の稼働制限に伴い、上記期間において常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実施に取り組むこととした。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 第2回計画特別委員会〔6月27日(水)〕について(宮本副会長)

国の医療計画作成指針に示されている二次医療圏設定ならびに5疾病・5事業および在宅医療ごとの医療圏設定の考え方等の説明があった。その後、「北海道医療計画(改定版)」の骨子および二次医療圏の設定について協議した。

2. 第2回地域医療専門委員会〔7月6日(金)〕について(宮本副会長)

北海道医療計画の見直しおよび在宅医療に係る北海道の取組みについて説明があり、その後、北海道医療計画の見直しに関し、終末期医療を含む在宅医療の提供体制等の骨子について意見交換を行った。

第8回常任理事会

日時 平成24年7月24日(火) 18:00～20:13
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒各常任理事、水元・中村各監事(事務局:島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件(深澤常任理事)

7月18日の審査委員会で指定「可」とされた新規2名、再審1名の申請者を指定医師とすることと決定。

第2号 北海道障害児通所給付費等不服審査会委員の推薦に関する件(深澤常任理事)

深澤・生駒両常任理事を推薦することと決定。

第3号 北海道歯科保健医療推進委員会委員の推薦に関する件(深澤常任理事)

地域保健部長の岡部常任理事を推薦することと決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座42件、道医認定生涯教育講座38件、合計80件を承認することと決定。

第5号 その他

(1) 8月行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. 北海道看護協会との懇談会〔7月4日(水)〕について(藤井常任理事)

本懇談会は当番制となっており、本年度は看護協会の担当で開催した。看護協会からは「組織における暴力対策について」、当会からは小職が「女性医師等支援相談窓口事業について」をテーマとしてそれぞれ発表の後、活発な意見交換が行われた。

2. 医師会立准看護学校連絡協議会〔7月8日(日)〕について(藤井常任理事)

初めに北海道保健福祉部から、「看護師等養成所教育指導体制強化事業について」「看護師等養成所運営費補助金について」等の概要説明があった。その後、北野常任理事から「日医看護職員検討委員会報告書及び要望書について」「道内医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査結果について」等について説明および報告を行った。意見交換では、受験者数の増加、臨地実習の問題等について活発な討議がなされた。

3. 高等学校進路指導教員等説明会〔7月11日(水)〕について(北野常任理事)

帯広地区の高等学校より8校12名が出席。小職、北海道看護協会・井本常任理事、帯広市医師会看護高等専修学校・杉原副校長からそれぞれ挨拶の後、小職からは「北海道における保健・医療・福祉の現状」、看護協会・井本常任理事からは「看護職の需給見通しと就業状況」、帯広市医師会看護高等専修学校・渡邊教務主任からは「現在の生徒の生活から見えるもの」について説明を行い、進路相談の場などで北海道の看護師不足の現状を説明し、看護師養成所への受験・入学を学生に勧奨していただくようお願いした。出席した教員からは、「可愛がられる生徒とは」など多岐にわたる質問があり、渡邊教務主任から回答があった。

4. 北海道臨床開発機構TR推進運営委員会〔7月13日(金)〕について(長瀬会長)

がんや認知症、生活習慣病等の国民を悩ます病に対する創薬や医療技術などについて、有望な基礎研究成果を実用化に繋げる「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」の進捗状況についての報告、オール北海道先進医学・医療拠点形成事業の進捗状況についての実績報告があった。

5. 第1回都道府県医師会長協議会〔7月17日(火)〕について(三宅副会長)

国の「医療イノベーション5か年戦略」にみる特区制度の活用について、医療類似行為による不適正療養費の増大について、特別養護老人ホーム等の医務室の保険医療機関の指定に関する問題について、今年度診療報酬改定における入院基本料の算定要件となった管理栄養士配置について、等11題の協議があった。詳細は日医ニュース等を参照願いたい。

6. 北海道小児救急医療地域研修事業協議会〔7月18日(水)〕について(目黒常任理事)

北海道小児科医会、北海道、当会の三者で本年度の研修会開催計画について協議を行い、全道8地域の開催ならびに研修内容を決定した。なお、研修会の名称をこれまで「北海道小児救急地域医師研修会」としていたが、数年前より医師以外の看護師、保健師、救急隊等の医療関係者も受講対象としているため、本年度から「北海道小児救急医療地域研修会」に変更した。

7. 日医理事会報告(長瀬会長)

協議事項として、公益社団法人への移行認定申請及びそれに伴う定款・諸規程変更の件、第127回日本医師会臨時代議員会ならびに第71回日本医師会臨時総会の件等があった。その他報告事項等に関しては、日医速報を参照願いたい。なお、事前の打合せにて、都道府県医療費適正化計画について、柔道整復師の現状について、疫学研究・臨床研究に関わる所謂「包括同意」の問題点について等に関する意見交換をした。

8. 外部各委員会報告

(1) 第1回身体拘束ゼロ作戦推進部会〔7月19日(木)〕について(前川常任理事)

平成23年度北海道身体拘束廃止推進委員研修会(釧路町・稚内市)について報告があり、平成24年度の研修企画(八雲町・新ひだか町)について協議された。

(2) 北海道医療対策協議会 自治体病院等広域化検討分科会〔7月20日(金)〕について

(宮本副会長)

4月1日現在の自治体病院等広域化・連携構想に係る地域における取組み状況ならびに6地域より提出された「地域医療提供体制診断シート」について説明があった。その後、地域行動計画の作成に向け、意見交換を行った。

(3) 北海道精神保健福祉審議会第2回部会〔7月23日(月)〕について(直江常任理事)

北海道医療計画の骨格について説明があり、精神疾患の医療連携体制(①予防・アクセス、②治療・回復・社会復帰)の現状と課題、数値目標について、医療圏の問題点とともに協議された。

9. 中央情勢報告(直江常任理事)

「社会保障制度改革推進法案について」

6月26日に衆議院本会議において可決された「社会保障制度改革推進法案」等の社会保障・税一体改革関連8法案について懸念される点と今後の審議は社会保障制度改革国民会議に委ねられることとなる。今後、混合診療の全面解禁、免責制の再燃、国民皆保険制度の縮小化などに議論が進展していかないよう注視しなければならないことを説明した。

10. 各部報告

(1) 第2回医療関連事業部担当理事会〔6月26日(火)〕について(藤井常任理事)

女性医師等支援相談窓口事業周知に係る医学生との座談会、臨床研修指定病院訪問の開催について検討した。また、福祉関係職能団体等懇談会に本年度から北海道歯科医師会と関係2団体が参画することとなった。

道総医協関連事項（三宅副会長）

1. 第2回地域保健専門委員会〔7月20日(金)〕について（畑副会長）

平成24年度がん診療連携拠点病院推薦要領案について決定した。これに基づき現在指定されている20病院に対し事前調査を実施する。また、小児がん拠点病院とがん診療連携拠点病院の整備について、基本的な考え方と今後の検討方針について協議した。

道医の動き

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 7月11日 | 高等学校進路指導担当教員等説明会（帯広市、北野常任理事）、地域医療に関わる地域別意見交換会（稚内市、長瀬会長、目黒・伊藤各常任理事）、日医男女共同参画委員会（藤井常任理事） | 7月24日 | 第8回常任理事会、学術部担当理事会、電力需給対策に関する打合せ会 |
| 7月12日 | 日医介護保険委員会（前川常任理事） | 7月25日 | 医事紛争処理委員会、北海道厚生局との打合せ、日医産業保健委員会（生駒常任理事）、日医病院委員会（直江常任理事） |
| 7月13日 | 医療事故防止研修会（苫小牧市、長瀬会長、水谷常任理事）、日本医師会綱領（仮称）検討委員会（古屋理事） | 7月26日 | 都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会（目黒常任理事、※長瀬会長TV会議対応）、日医救急災害医療対策委員会（目黒常任理事） |
| 7月17日 | 北海道医学大会幹事会・連絡協議会、日医理事会（長瀬会長）、都道府県会長協議会（長瀬会長、三宅副会長） | 7月28日 | 健保請求事務講座、男女共同参画フォーラム（富山市、畑副会長、藤井・岡部各常任理事）、全国有床診療所連絡協議会（宮崎市、～29日、宮本副会長） |
| 7月18日 | 母体保護法指定医師審査委員会、北海道小児救急医療地域研修事業協議会 | 7月29日 | 東京都医師会役員との懇談会 |
| 7月19日 | 地区別事務懇談会（道南・日胆ブロック）、日医広報委員会（山科常任理事） | 7月30日 | 医学生との座談会 |
| 7月20日 | 地区別事務懇談会（中央・後志ブロック）、日医医療政策会議（長瀬会長） | 7月31日 | 災害医療対策に関する打合せ |
| 7月21日 | 健保請求事務講座 | 8月1日 | 北海道糖尿病対策推進会議 |
| 7月23日 | 三役会 | 8月7日 | 北海道医師会賞受賞者選定委員会、医育ブロック会議 |
| | | 8月8日 | 医業経営講習会（滝川市、長瀬会長、伊藤常任理事）、医療事故防止研修会（旭川市、水谷・橋本・前川各常任理事）、日医母体保護法等に関する検討委員会（藤井常任理事） |
| | | 8月9日 | 日医勤務医委員会（岡部常任理事） |
| | | 8月10日 | 日医学校保健委員会（三戸常任理事） |